

提出された意見の概要と区の考え方

番号	区 分	提出された意見の概要	区の考え方	取扱
①	生ごみの処理について (素案 P20)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、飲食店からの生ごみ処理にコンポストの普及を推進してほしい。また、処理機やプラスチックのコンポスト化容器以外のタイプの補助の実施、自治体主導での設置も検討してほしい。 ・できた堆肥を区の花壇や農園に提供する等、区全体で生ごみとたい肥の循環の構築を目指してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、家庭用生ごみ処理機等購入費補助金制度を実施してまいります。なお、当該制度における対象機器は、「プラスチックなど長期的に使用できる素材」としており、プラスチック以外の素材も対象となります。 ・また、区では、保育園に設置している生ごみ処理機の活用や、学校給食室から出る野菜くずなどの飼料化・肥料化、発電等のリサイクルを実施し、区施設からの生ごみ減量に努めています。 ・たい肥の活用については、環境学習の一つとして、たい肥化講座の実施を検討します。 	○
②	食品ロスについて (素案 P40)	<ul style="list-style-type: none"> ・給食からの廃棄について、廃棄の現状や廃棄量ゼロのための対策を盛り込むべきである。学校では先生方が残さないよう工夫をしているようだが、おかわりする時間がない、クラスによってはルールがある、といったことから残飯が出てしまっている。給食の量の見直しや、持ち帰り許可など取組が必要であると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の給食や「葛飾教育の日」といった場を、子どもたちへの普及啓発の場と捉え、食品ロスについて教育し、食べ物に対する敬意や感謝の気持ちを育成し、食品ロス削減を図ります。 ・また、学校の取組については、今後設置する庁内連絡会を活用し、健康部や教育委員会事務局等と連携を図っていきます。 	□

○ すでに計画に盛り込まれている

□ 意見・要望としてお聞きした